

とんとん チャレンジ！



熊野第三小学校
第4学年 学年通信
令和3年12月3日

学習発表参観日ありがとうございました

4年生は総合的な学習の時間に調べたり、見学に行ったりして学んできた「防災」について発表しました。本番を終えた子供たちは、力を出しきったとても素敵な表情でした。ゲストティーチャーで来てくださった方からも、お手紙をいただき、早速紹介すると、とても嬉しそうでした。自分たちで学んだことを台本にし、発表方法を考えて、お家の方や3年生に伝えるミッションは大成功でした。子供たちの声やゲストティーチャーの方からのお手紙を紹介します。

- ・始めは必死で言葉を覚え、最後は「これを伝えたい」と気持ちを入れて発表しました。
- ・自分の疑問がだんだん分かってきたことを伝えたいと思って頑張りました。
- ・みんなの心を一つにさせることをがんばりました。みんなに「練習しよう」と呼びかけたり、お互いの声の大きさを確かめたりしながら取り組みました。自分の精一杯の力を出しました。
- ・友だちも恥ずかしがらずにがんばっていて、「ほくも！」ともっとやる気が出ました。友だちもほくもがんばったと思います。
- ・役場の人に質問して分かった大切なことを何枚も書くのは大変で、さらにまとめるのも苦しかったです。自分の台詞よりさらに多い人ががんばっていたので、ほくもがんばりました。

- ・発表会とてもよかったです。みんながいっぱい勉強して一生懸命発表してくれてとても感動しました。これからもみんながんばってね。
(東部防災交流センター館長さん)
- ・熊野町の防災の取組についてとても良く調べてくれて感動しました。「備えが大切！」忘れないで。(熊野町防災安全課の方々)
- ・防災のことがとてもよく分かりました。頭のもみじもおそろいで素敵でした。大人の意識も高まったことと思います！
(教育委員会の先生方)



「タスケ3兄弟」になりきって、ジスケ・コウスケ・キョウスケのヘルメットのもみじカラーを身に着けました



筆作り体験がありました

熊野町の伝統工芸士さんから、指導を受け自分だけの筆を作りました。全部の工程を聞きながら一部を手作りで行いました。「思うようにいかないなあ・・・」「筆と軸は、こうやってつながっているのか。」など、思わずこぼれる言葉に伝統工芸士さんがコツや習得までの大変さを伝えてくれながら、熊野町の伝統の技に触れました。自分で作った筆はもちろん、書道で使う筆もきっと大切に使用していけることだと思います。

子供たちの感想

- ・ 手作りの筆で作るのが一番すごかったのは、火を筆の毛の束の根元にあて糸で縛ることです。筆にノリをたくさんつけて、筆の汚れを取ることが楽しかったです。最後の仕上げは、筆に糸を巻きつけてピューと下に下げていくと余分なノリが取れて先がとがいます。やってみて気持ちよかったです。手作りで作る人々はすごいな、と思いました。
- ・ まず荒谷先生(伝統工芸士さん)が毛と少なめのめれた毛のどこを持って周りに巻きつけるか、教えてくれました。あと強くノリを筆の中に入れて押し付けることもやってみました。筆作りのパンフレットを見直していると「工芸士になるのに最低でも10年かかる。」とありました。すごいなと思いました。



衣毛を巻きつけます



筆を軸に入れてもらいます



ノリを取り、整えます。



余分な汚れを取り除きます



新しい友だちが入りました

4年1組に 熊野第一小学校から小谷 翼輝くんが転校してきました。
どうぞ よろしくね。4年生は全部で56人です。みんなで伸びていこう。



風邪に気を付けてお過ごしください